

2013年3月4日

報道関係各位

都道府県対抗・学生観光PRアワード
実行委員長 山下 静香

学生の チカラ

<学生のチカラで日本を元気に！>

 第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード

全国参加 66 大学・178 名の中から、

初代グランプリ・観光庁長官賞とアジアミスキャンパスによるインバウンド賞が、

ダブル受賞で新潟大学・渡辺直美さんに決定！！

次は<留学生のチカラで日本を元気に！>

「第1回留学生観光PRアワード」の開催が決定！！

全国 47 都道府県のミスキャンパス候補者等（全国 66 大学）が、方言で「おらが街」を国内外にPRする企画「学生のチカラで日本を元気に！第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード」（略称：ガクチカ観光PRアワード (<http://www.misscampus.net/kankoaward/>)) (註) の決勝進出 10 大学<北海道(北海道大学)、東北学院大学(宮城県)、茨城大学(茨城県)、千葉大学(千葉県)、成蹊大学(東京都)、新潟大学(新潟県)、名城大学(愛知県)、金沢大学(石川県)、関西大学(大阪府)、熊本県立大学(熊本県)>による決勝戦が、2013年2月23日(土)、千葉市の東京情報大学・千葉ステーションキャンパスにて開催され、各大学の代表によるプレゼンテーションにより、「グランプリ(観光庁長官賞)」とアジアのミスキャンパスが選出する「インバウンド賞」が決定いたしました。

本アワードは、現在の閉塞感漂う日本において、将来を担う学生が、自分が通う大学がある町、市、県、地域の活性化に少しでも寄与しようと立ち上がったもので、学生世代の元気の象徴として、各大学の47都道府県のミスキャンパス等の大学生が、地元の観光PRを、学生ならではの自由な発想・アイデア、時に方言で行うことで参加し、学生視点の新たな日本の魅力の発見・発信と、地域観光への寄与することを目指して開催されました。

全国 66 大学の参加者は、2012年10月～2013年1月の間、ソーシャルメディア(Google+ と YouTube) 上で、各地域の観光活性化につながる「地元の観光PR」または「とっておきのおススメ観光プラン」を地元の言葉(方言)で投稿を行ってきました。投稿は各候補者の「Google+」アカウント上で行われ、候補者の投稿に対する「+1」による応援投票が行われ、本アワード全体のフォロワー数は 60,000 に達しております。「+1」とは投稿に対しての共感や応援、おすすめを意味します。

また、当実行委員会では、国内観光の活性化を目指して行われた本アワードでの成功から、アジアを中心とする海外からのインバウンド促進による地域観光への寄与を目指して、日本への留学生を対象に、『留学生のチカラで日本を元気に！第1回留学生観光PRアワード(略称：ガクチカ留学生観光PRアワード)』を開催することを決定いたしました。

現在、日本の大学、専門学校で学ぶ外国人留学生は約 14 万人在籍しています。この他にも、学生交流、研修旅行、インターンシップ、短期滞在等など、様々な形態により我が国で学んでいる学生がおり、その中でも近年、増加傾向にあるのが ASEAN からの留学生といえます。また、観光客に至っては、震災以降も高い伸び率を続けているのは ASEAN 諸国であるという事実があります。

本企画は日本に留学するアジア・ASEAN の留学生を対象に、日本が好き、日本に観光したいアジアの次世代を担う若者に向け、留学生から見た日本の魅力を、ソーシャルメディアを活用し発信いたします。

『ガクチカ留学生観光PRアワード』は、2013年8月～10月の間、日本全国の留学生を対象に開催し、留学生から見た日本各地の魅力を、ソーシャルメディアを通じて、留学生の母国語と日本語により海外の若者層に向けて発信することで、＜留学生のチカラで＞インバウンド振興による地域の活性化に貢献してまいりたいと思います。

■ガクチカ観光PRアワード

<開催状況>

- ・参加都道府県：47都道府県
- ・後援団体：観光庁、36道府県、1市（決勝戦会場の千葉市）
- ・参加大学数：66大学
- ・参加者数：178名（全国のみすキャンパス等）
- ・参加者（178人）のフォロワー数：63,346（2013年2月13日時点）

<ガクチカ観光PRアワード 決勝戦>

●観光庁長官賞（グランプリ） ※敬称略

- ・新潟大学（新潟県） 渡辺直美



<審査員> ※敬称略

審査委員長：井手 憲文（観光庁長官）

副審査委員長：藤原 洋（株式会社ブロードバンドタワー代表取締役会長）

審査員：櫻井 尚子（東京情報大学教授）

審査員：DAVID KOIZUMI（ファッションプロデューサー）

審査員：太田 雅人（株式会社GETTIGROUP 代表取締役）

※下記の評価基準により、プレゼンテーションの審査を実施。

<評価基準>

- ・観光PRの完成度／・惹き付けられ度／・地元愛



写真前列（敬称略）：ミスソフィア・鳥部万里子、シンガポール代表 ルイーザ・リム・ウェイ・スー（ミスシンガポール国立大学）、櫻井 尚子（東京情報大学教授／審査員）、井手 憲文（観光庁長官／審査委員長）、藤原 洋（株式会社ブロードバンドタワー代表取締役会長／副審査委員長）、インドネシア代表 マリア・アステリア・サストラユ・ラハジャン（ミスペリタ・ハラバン大学）、ベトナム代表 ファム・トー・クエン（ミスベトナム外交学院）

●インバウンド賞 ※敬称略

※審査の結果、観光庁長官賞（グランプリ）とダブル受賞

- ・新潟大学（新潟県） 渡辺直美



<審査員>※敬称略

【アジアミスキャンパス】

- ・インドネシア代表：マリア・アステリア・サストラユ・ラハジャン（ミスペリタ・ハラバン大学）



- ・シンガポール代表：ルイーザ・リム・ウェイ・スー（ミスシンガポール国立大学）



- ・ベトナム代表：ファム・トー・クエン（ミスベトナム外交学院）



※インバウンド賞について

継続的なアジアの学生間の友好親善を目指し、日本の主要大学のミスキャンパスとアジア3ヶ国のミスキャンパスによる「第2回ミスキャンパスサミット」に参加し、今回実行委員となったアジアのミスキャンパス（インドネシア、ベトナム、シンガポール）が審査を行い、外国の学生から見て一番魅力的だった観光PRに選ばれたのが、「インバウンド賞」です。



※第2回ミスキャンパスサミットについて

「第2回ミスキャンパスサミット」は、2013年2月21日(木)～2月27日(水)の間、首都圏を舞台に開催されました。日本・ASEAN友好40周年を記念し、学生が主体となって継続的に開催するために、アジアのミスキャンパス（インドネシア、ベトナム、シンガポール）と日本のミスキャンパス（東京大学、慶應義塾大学、上智大学、埼玉大学）による、「ミスキャンパスサミット実行委員会」を立ち上げるとともに、今後50年以上「ミスキャンパスサミット」を開催し、継続的なアジアの学生間の友好親善のネットワークを構築していくことを確認しました。また、2月22日を【アジア学生の友好の日】として制定し、毎年2月22日前後に「ミスキャンパスサミット」を開催するとともに、今後参加国を、ASEAN 10カ国と中国、台湾、香港、韓国、インドに順次拡大し開催していくことを決定いたしました。

<ガクチカ観光PRアワード 開催概要>

●名称：<学生のチカラで日本を元気に！第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード>

●URL：<http://www.misscampus.net/kankoaward/>

●略称：<ガクチカ観光PRアワード>

●開催日時：都道府県対抗戦：2012年10月～2013年1月

決勝戦：2013年2月23日(土)

●開催場所：各大学キャンパスでの学園祭及びWEB

決勝戦会場：東京情報大学・千葉ステーションキャンパス

●主催：学生のチカラで日本を元気に！都道府県対抗・学生観光PRアワード実行委員会

●企画運営：都道府県対抗・学生観光PRアワード運営事務局

●参加大学：全国47都道府県・66大学が参加

北海道大学、弘前大学、秋田大学、岩手大学、東北学院大学、山形大学、福島大学、新潟大学、茨城大学、群馬大学、千葉大学、東洋大学、獨協大学、埼玉大学、宇都宮大学、横浜国立大学、横浜市立大学、東京大学、慶應義塾大学、上智大学、立教大学、学習院大学、青山学院大学、成蹊大学、國學院大学、明治学院大学、中央大学、専修大学、皇學館大学、金沢大学、富山大学、信州大学、福井大学、名城大学、立命館大学、日本大学、都留文科大、岐阜大学、岐阜薬科大学、甲南大学、同志社大学、関西大学、関西学院大学、奈良県立大学、畿央大学、和歌山大学、広島大学、岡山大学、鳥取大学、島根大学、徳島大学、松山大学、愛媛大学、下関市立大学、高松大学、高知大学、福岡大学、中村学園大学、佐賀大学、宮崎大学、長崎大学、大分大学、熊本県立大学、鹿児島大学、鹿児島純心女子大学、沖縄キリスト教短期大学

●特別後援：CampusNavi、5L、地活NEWS

●後援：観光庁、岩手県、秋田県、宮城県、福島県、群馬県、茨城県、栃木県、埼玉県、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、静岡県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、岡山県、島根県、愛媛県、高知県、福岡県、熊本県、佐賀県、長崎県、鹿児島県、沖縄県、千葉市他

●課題：<あなたなら、地元の観光の魅力をどう語りますか？>

あなたの地元の観光活性化につながる「地元の観光PR」または「とっておきのおススメ観光プラン」を地元の言葉（方言）で行なってください。

『留学生のチカラで日本を元気に！第1回留学生観光PRアワード』について

「学生のチカラで日本を元気に！第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード」の留学生版を開催いたします。

※日本、中国、韓国、インド、台湾、香港、ASEAN10ヶ国、合計16ヶ国(地域)の留学生(日本にきている留学生及び日本からアジアに留学している学生)による、観光PRアワードを開催。

- ・実施時期(予定):2013年8月～10月
- ・参加国(予定):16ヶ国(地域)
- ・参加者数(予定):100人

現在日本の大学、専門学校で学ぶ外国人留学生は約14万人在籍しています。この他にも、学生交流、研修旅行、インターンシップ、短期滞在等など、様々な形態により我が国で学んでいる学生がおり、その中でも近年、増加傾向にあるのがASEANからの留学生といえます。また、観光客に至っては、震災以降も高い伸び率を続けているのはASEAN諸国であるという事実があります。

本企画は日本に留学するアジアASEANの留学生を対象に、日本が好き、日本に観光したいアジアの次世代を担う若者向けに、彼らの憧れである日本の魅力を、ソーシャルメディアを活用し発信いたします。


今回参加する外国人留学生には、「若者外交官」として見た日本の姿、自分の留学する地域の姿、自分が発見した日本の魅力を記事にし、日本語、英語そして母国語で発信をする事により、日本の素晴らしさを思う存分に投稿してもらいます。

また2014年からは「東アジア文化都市」が実施計画されているため、そこにも標準を合わせ、将来的にはこの留学生観光アワードを各アジアASEAN諸国にて開催し、学生間での国際観光交流の促進、アジアASEANの学生ネットワークの構築を基にできるプラットフォーム(campus navi asia)を構築し、観光立国を担う人材を育てていきたいと考えております。

- 名称：＜留学生のチカラで日本を元気に！第1回留学生観光PRアワード＞
- 略称：＜ガクチカ留学生観光PRアワード＞
- 開催目的：これからのアジアの将来を担う留学生に、自らが愛する日本の地域の観光PRを行うことで、新たな日本の魅力をアジアに向け発信、地域観光の促進につなげることを開催目的とします。
- 開催日時(予定)：都道府県対抗戦：2013年8月～10月
- 開催場所：ソーシャルメディア上での予選+決勝戦
- 主催：学生のチカラで日本を元気に！第1回留学生観光PRアワード実行委員会
- 企画運営：ガクチカ留学生観光PRアワード運営事務局
- 参加国(予定)：16ヶ国(地域)
- 応募対象：全国10ブロック 受入環境整備サポーター派遣参加留学生
- 後援(予定)：観光庁、外務省、経済産業省、47都道府県

■ご参考資料

＜ガクチカ観光PRアワード決勝戦会場＞

- ・東京情報大学について  **東京情報大学**

東京情報大学は、学校法人東京農業大学の系列校として、1988(昭和63)年4月、千葉市に開学。シンボルマークおよび学旗のデザインは、葡萄をイメージしている。葡萄の木が大量の情報伝達能力をもつインフォーマルコミュニケーションの比喩として用いられることから、情報社会で活躍する人材を育成する「現代実学主義」の教育理念を示すとともに、葡萄は一粒一粒が「甘み」「香り」など果実としての個性を主張しているながらも、房全体として調和が保たれていることから「自立と協調」という学生指導の理念を象徴している。



・東京情報大学・千葉ステーションキャンパスについて

東京情報大学・千葉ステーションキャンパスは、2012年に、東京情報大学の新しい情報発信基地として、JR千葉駅近くに開設されました。

このステーションキャンパスは、小学生から社会人までの皆様に東京情報大学を身近に感じていただくために開設され、地域との密着を目指すため、「情報学に関するミニキャンパス」として位置づけられたものです。

■本件に関するお問い合わせ先

〒107-0062 東京都港区南青山 4-18-21 3階

学生のチカラで日本を元気に！第1回都道府県対抗・学生観光PRアワード実行委員会

TEL. 03-5775-0666 FAX. 03-5775-0672

Mail: kankou.pr.award@gmail.com